石峰＆抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

波佐ネット通信

Ｎｏ．15　　2015.5.3

地域研究センター協議会
【参加団体】
西中国山地民具を守る会
波　佐　文　化　協　会
能　海　寛　研　究　会
ほたる湯館Ｇ・ゴルフ場

「カルチャーミュージアム（学べる博物館）」探検隊リレー講座始まる

５月２日（土）、第１回講座「笠松峠の畳石路」を観て歩く、が五月晴れの新緑まっただ中で開催した。今回は、広島方面からの参加者を中心に、笠松堰堤登山口をスタートして、亀岩、休石（背負い子休憩施設）、笠松山鉄穴洗い場、立石（畳石記念碑・文化８年）、大芝（涼みの松・津和野藩主休息所）、水の横側地蔵堂を経て頂上へ到着までの間に、チゴユリ、イチリンソウ、エンレイソウ、マムシソウ、イカリソウ、ギンリョウソウ、などの山野草やヤマフジの花が可憐な花を楽しませてくれた。

津和野藩主が領内巡検の折りに休憩されたという、大芝にて、昼食を済ませ、頂上から笠松林道を下り、速田神社へ参拝した。天正 11 年より広島の速谷神社の御神体を祀る、この神社は、亀谷家において代々例大祭が執り行っている。

速谷神社と田中姓の頭文字をもって速田神社として 432 年間を見守ってきた境内のウラジロガシの老木も神社の歴史を表している。

出発前のオリエンテーション

笠松川堰堤登山口

畳石路の模様

立石記念碑にて

水の横側お地蔵さん

速田神社